

ニュースを検索

検索

**NEWS WEB** ニュース

天気

動画

News Up

特集

スペシャルコンテンツ

NEWS WEB EASY

新着 社会 気象・災害 科学・文化 政治 ビジネス 国際 スポーツ 暮らし 地域

注目ワード

新型コロナウイルス

新型コロナ 国内感染状況

新型コロナ 経済影響

米黒人男性死亡

気象

▶ もっと見る

河井前法相夫妻 公選法違反事件 トランプ大統領

LIVE

西日本～東日本 大雨に警戒



## 旧優生保護法による不妊手術 賠償を求めた訴え退ける 東京地裁

2020年6月30日 14時12分

旧優生保護法のもとで不妊手術を強制されたとして、70代の男性が国に賠償を求める裁判の判決で、東京地方裁判所は、訴えを退けました。全国の裁判で判決が言い渡されるのは去年5月の仙台地裁に次いで2件目で、初めて賠償が認められるか注目されていましたが、認められませんでした。

北三郎さんの名前で訴える都内の77歳の男性は、昭和32年、14歳の頃に旧優生保護法によって不妊手術を強制されたのは重大な人権侵害で憲法違反だとして、国に3000万円の賠償を求めました。

裁判では、不法行為から20年が過ぎると賠償を求められなくなる「除斥期間」と呼ばれる期間を過ぎたかどうかが大きな争点となりました。

男性側が、精神的な苦痛が続いている間に除斥期間を適用すべきではないと主張した一方、国側は、手術から20年がたった時点で賠償を請求する権利が無くなつたとして、訴えを退けるよう主張しました。

30日の判決で、東京地方裁判所の伊藤正晴裁判長は、国の賠償責任を認めず、訴えを退けました。

全国の裁判で判決が言い渡されるのは去年5月の仙台地裁に次いで2件目で、初めて賠償が認められるか注目されていましたが、認められませんでした。



気象

データマップ

LIVE

口永良部島 噴火警戒レベル3



鉄道運行情報



ニュースを検索

検索

### ソーシャルランキング

この2時間のツイートが多い記事です



1

香港国家安全維持法案可決 中国全人代常務委 香港メディア

2



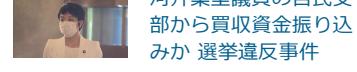
ポイント還元終了 キヤッショレス定着は店の負担軽減が課題

3



携帯料金 日本は“なお高い”ロンドンの3倍以上 総務省調査

4



河井案里議員の自民党から買収資金振り込みか 選挙違反事件

5



あすからレジ袋有料化 買い物客に風呂敷配つて理解求める 京都

▶ ランキング一覧へ